2020

一般社団法人 青森県作業療法士会

認知症作業療法 活動報告と計画（概要）

本会の2019年度下半期の活動は、行政との連携事業（介護予防事業；シニアカフェ）や認サポによる認知症作業療法の普及・啓発、家族の会との繋がりを深めるために『つどい』のサポートや認知症フォーラム運営サポート、アルツハイマーデー街宣活動などを実施した。

また、認知症の人の生活支援に関与している会員やその内容を把握するために、全会員を対象に調査を行った（人材マップ事業）。今後は、得られた情報を基にして、より多くの会員の各種活動への参画を推進する。

2020年度の活動は初期集中支援事業、普及啓発事業、人材育成の３本柱で計画している。

行政との連携事業（シニアカフェ事業）

高齢者の通いの場作りのモデルケースとして、八戸市主催による『まちなかシニアカフェ』が開催され、本会では【認知症予防教室】実施の依頼を受け担当した（写真）。このことは、これまでの認知症作業療法の普及・啓発活動の成果であった。

今後は各地域で『シニアカフェ』の開催が予想されるため、それに対応できる人材育成が急務となっている。

COVID-19（新型コロナウィルス）の影響・対応など

2019年度に認知症スタンプラリーを開催したところ、200名以上の来場者があり、大変好評であった。そのため、2020年度においても関連４団体（本会、八戸市、若年性認知症総合支援センター、八戸薬剤師会）の共催（他に認知症疾患医療センター、家族の会青森県支部、八戸市レクリエーション協会、精神科病院が協力）で開催を予定していたが、感染予防の観点から中止となった。しかし、地方新聞の特集記事への協力依頼があり、スタンプラリー等の情報提供によって、認知症の理解の普及・啓発を広く行うことができた（写真）。

現在、各自治体の認知症関連事業は中断しており、再開の判断や時期については、各自治体で異なっている。また、家族の会との連携において、認知症フォーラムやアルツハイマーデー街宣活動の各事業は中止となったが、『つどい』は再開した。

実践編

恐怖心、否定的イメージ払拭

認知症スタンプラリー

リハビリや支援体制紹介

知ることが予防の第一歩

頭の健康づくり

第3日曜特集

人材育成事業（認知症基礎研修会）

昨年度までのアップデート研修会の内容をベースとした『認知症基礎研修会』を11月に開催する予定である。来年度に向けて、基礎研修会の内容をステップアップさせた応用研修会を企画する。

今後の展開

- 初期集中事業、普及・啓発事業を担っていく人材の確保と育成
- 認知症応用研修会の企画・開催